

# 「Waku Waku みらい共創研究会」 わたし未来会議 初回テーマ『遊ぶ』（全4回） 開催のご案内

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

『わたし未来会議』は、未来の予測ではなく私たちが思う「こうありたい未来」に向けた未来シナリオを議論する場として開催いたします。初回のテーマとして、「遊ぶ」を選びました。

ご多用中とは存じますが、是非ともご参加いただきたく、以下のとおりご案内申し上げます。

敬具

## 開催概要

- 【日時】** 第1回：2018年7月5日（木） 13:00～18:00 懇親会も開催予定  
※受付は12:30 より行います  
第2回：2018年8月2日（木） 13:00～18:00  
第3回：2018年9月10日（月） 13:00～18:00  
第4回：2018年10月12日（金） 13:00～18:00
- 【会場】** 株式会社NTTアド（NTT出版株式会社）  
東京都品川区上大崎3-1-1 JR東急目黒ビル3F 大会議室
- 【主催】** NTTコミュニケーションズ株式会社
- 【お申込方法】** 会員向けWebサイトから参加登録ください  
(URL) [http://www.ntt.com/business/lp/mirai\\_biz.html](http://www.ntt.com/business/lp/mirai_biz.html)



# プログラム

ファシリテーターは、NPO法人ミラツク 代表理事 西村 勇哉 氏にご担当いただきます。

## 第1回

時間	プログラム	
13:00～13:20 (20分)	イントロダクション	ショートレクチャー：全4回の構造とアウトプットの確認 参加者同士の簡単な自己紹介
13:20～14:30 (70分)	レクチャー	レクチャー：「未来シナリオづくりのアプローチ」 レクチャー：「イノベーションの構造とアイデア生成のための 情報収集アプローチ」
14:30～15:15 (45分)	ウォーミングアップ	ショートレクチャー：未来テクノロジー情報の共有 双方向インタビュー：インタビューによる感新領域掘り起こし グループ形成：全4回で協働する少人数のグループを形成
15:15～15:30 (15分)	休憩	
15:30～16:30 (60分)	ワークショップ①	ショートレクチャー：「遊ぶ」とは？ グループディスカッション：扱う「遊ぶ」の領域を設定
16:30～17:30 (60分)	ワークショップ②	グループディスカッション：強制発想の手法を用いた 未来テクノロジー情報と 「遊ぶ」領域の組み合わせによる フラッシュアイデアの形成 アイデア発想：デザインスプリントの手法を用いた フラッシュアイデアを組み合わせた 「未来の遊ぶ（仮）」の第1回アイデア形成
17:30～17:45 (15分)	グループ振り返り	
17:45～18:00 (15分)	次回に向けた準備、ホームワークの説明	
18:00～19:30 (90分)	懇親会	

## 第2回以降の概略

	時間	プログラム
第2回 8月2日（木）	13:00～18:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲスト講義</li> <li>・グループディスカッション</li> <li>・ホームワーク（未来技術の情報収集）</li> </ul>
第3回 9月10日（月）	13:00～18:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インプット：各自情報収集した情報整理</li> <li>・ディスカッション：テーマの決定</li> <li>・プレゼンテーション：発表に向けたプレゼンテーション作成</li> </ul>
みらい共創研究会 セミナー 9月28日（金）	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みらい共創研究会セミナーでの成果発表プレゼン</li> </ul>
第4回 10月12日（金）	13:00～18:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート作成：プレゼンから更に深化させたレポート作成</li> <li>・クロージング：全4日間の振り返りと個人・個社への落込み</li> </ul>

※内容、時間は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

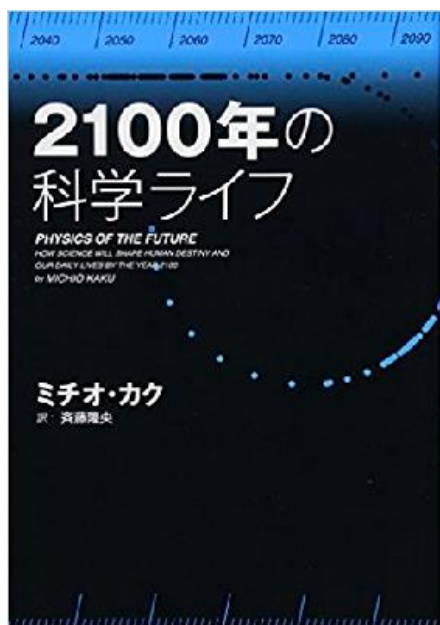
## 会場へのアクセス

JR山手線  
東急目黒線  
東京メトロ南北線  
都営三田線

「目黒駅」より徒歩1分（直結）



## 参考図書



わたし未来会議のプログラムの理解を助けるために、以下の参考図書を事前に読んでいただくことをオススメします。

### 【参考図書】

- 1 : 2100年の科学ライフ (ミチオ・カク著)
- 2 : 機械との競争 (E.ブリニョルフソン&A.マカフィー著)
- 3 : 拡張の世紀 (ブレット・キング著)